

92億5,617万円

の堅実予算で松前版地方創生を



特別会計77億2,416万円 水道事業会計7億2,486万円

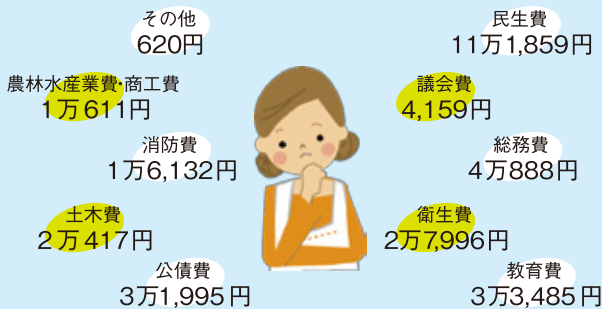
総額177億519万円でスタート

町内の愛媛県警察学校（西古泉）

3月定例会

3月議会定例会は、3月2日から18日までの17日間の会期で開催した。
 予算関連案件は、予算決算常任委員会での3日間の審査を行ない、最終日の本会議で全員一致により可決した。
 今定例会では、報告議案2件、議員提出議案が1件、理事者提出の38件の議案について、慎重な審議の結果いずれも原案どおり可決・同意した。

町民一人あたりの支出額 **29万8,163円**
 平成27年3月末人口 3万1,044人



●平成27年3月末の地方債(借入金)と基金(貯金)の在高状況(一般会計分)

項目	金額	備考
地方債(借入金)在高	108億7,240万円	見込額
	3万5,023円	町民一人あたり
基金(貯金)在高	16億4,684万円	見込額
	5万3,048円	町民一人あたり

支出

人件費、物件費、扶助費の増加や国体施設整備などの大型事業のほか、特別会計への繰出金も財政を圧迫することになり財源不足の要因となっている。
 このため平成27年度は、前年度にも増して既存の経常的経費などを更に創意工夫による節減に努め、選択と集中によって限られた財源を真に必要な事業に重点配分し、効率的に事業展開していく事を重要視した予算編成である。

収入

自主財源の主たる町税は、前年比1.1%の微増で40億8千万円を見込み、消費税率の引き上げに伴い、地方消費税交付金は一定の伸びが予測される。
 反面、普通交付税は、税などの増収に伴い減額が見込まれているため予算を許さない状況となっている。こうした財源不足に対応するため可能な限り地方債を充当するとともに財政調整基金から1億5千万円を繰り入れた当初予算である。